

<為替ヘッジあり・3ヵ月決算型>


第8期末 (2020年3月25日)	
基準価額	9,784円
純資産総額	225億円
第7期～第8期 (2019年9月26日～2020年3月25日)	
騰落率	△5.1%
分配金合計	50円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<為替ヘッジあり・資産成長型>

第4期末 (2020年3月25日)	
基準価額	9,954円
純資産総額	355億円
騰落率	△5.1%
分配金	0円


商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**(コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

 **ニッセイアセットマネジメント株式会社**
東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド

(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)
(為替ヘッジあり・資産成長型)

【愛称】 デニッシュ・インカム

追加型投信／海外／債券 **特化型**

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2019年9月26日～2020年3月25日

<3ヵ月決算型>

第7期 (決算日 2019年12月25日)

第8期 (決算日 2020年3月25日)

<資産成長型>

第4期 (決算日 2020年3月25日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド(為替ヘッジあり・3ヵ月決算型)／(為替ヘッジあり・資産成長型)」は、2020年3月25日に決算を行いました。

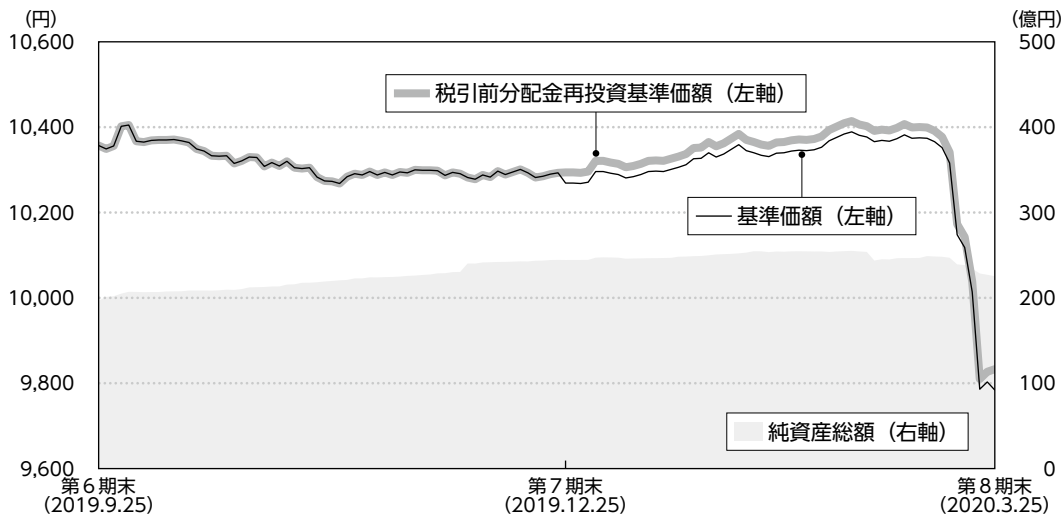
各ファンドは、「ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2019年9月26日～2020年3月25日

基準価額等の推移



第7期首	10,357円	既払分配金	50円
第8期末	9,784円	騰落率（分配金再投資ベース）	△5.1%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2020年1月から2月にかけて、欧州金利の低下（債券価格は上昇）に伴い低クーポン債を中心に価格が上昇したこと

<下落要因>

- ・2019年10月から12月にかけて、欧州金利の緩やかな上昇に伴い低クーポン債は価格が下落基調で推移したことに加え、高止まりする期限前償還率が意識される中、高クーポン債も緩やかに価格が下落したこと
- ・3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした市場の混乱から現金化の動きがあったことに加え、反転して金利上昇局面ではデュレーションが長くなる特性がマイナスとなり低クーポン債を中心に大きく価格が下落したこと

(注) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。

1万口当たりの費用明細

項目	第7期～第8期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	47円	0.454%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,303円です。
(投信会社)	(23)	(0.219)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.219)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.022	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(1)	(0.014)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(1)	(0.005)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	49	0.475	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

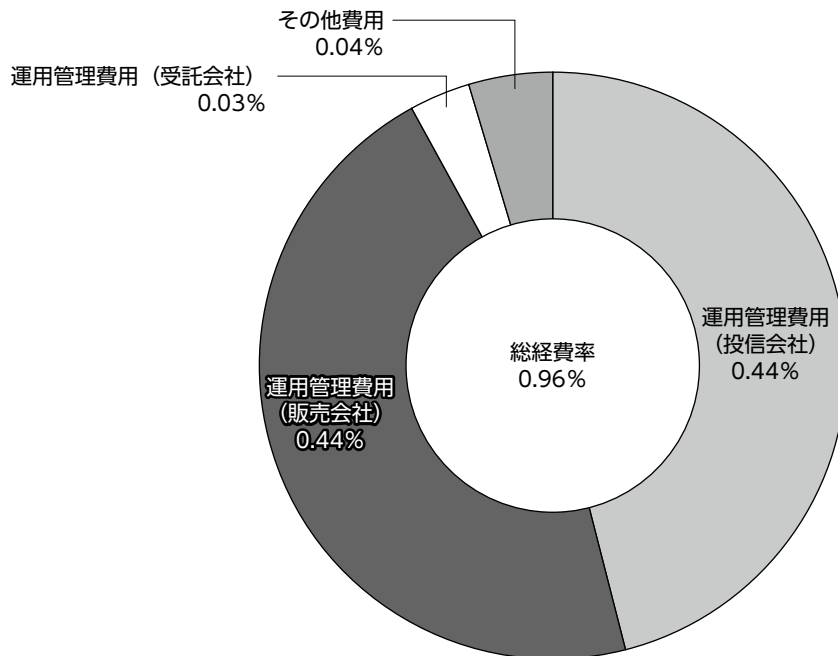
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



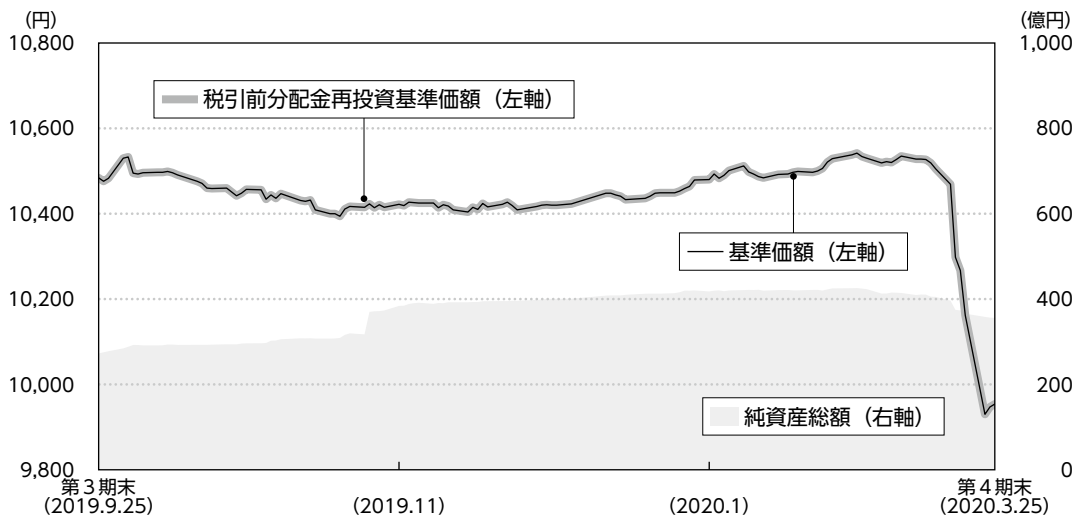
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第4期首	10,484円	既払分配金	0円
第4期末	9,954円	騰落率（分配金再投資ベース）	△5.1%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・2020年1月から2月にかけて、欧州金利の低下（債券価格は上昇）に伴い低クーポン債を中心に価格が上昇したこと

<下落要因>

- ・2019年10月から12月にかけて、欧州金利の緩やかな上昇に伴い低クーポン債は価格が下落基調で推移したことに加え、高止まりする期限前償還率が意識される中、高クーポン債も緩やかに価格が下落したこと
- ・3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした市場の混乱から現金化の動きがあったことに加え、反転して金利上昇局面ではデュレーションが長くなる特性がマイナスとなり低クーポン債を中心に大きく価格が下落したこと

(注) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す主要な指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。デュレーションが長いほど、金利変動に対する債券価格の反応は大きくなります。

1万口当たりの費用明細

項目	第4期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	47円	0.454%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,443円です。
(投信会社)	(23)	(0.219)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(23)	(0.219)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.022	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	(1)	(0.014)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(1)	(0.006)	<ul style="list-style-type: none"> ・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	50	0.475	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

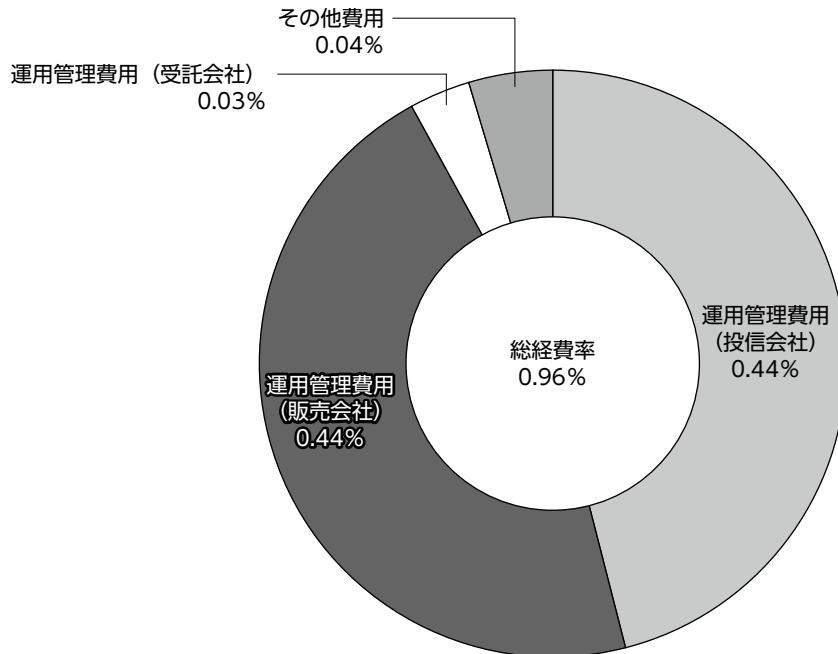
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

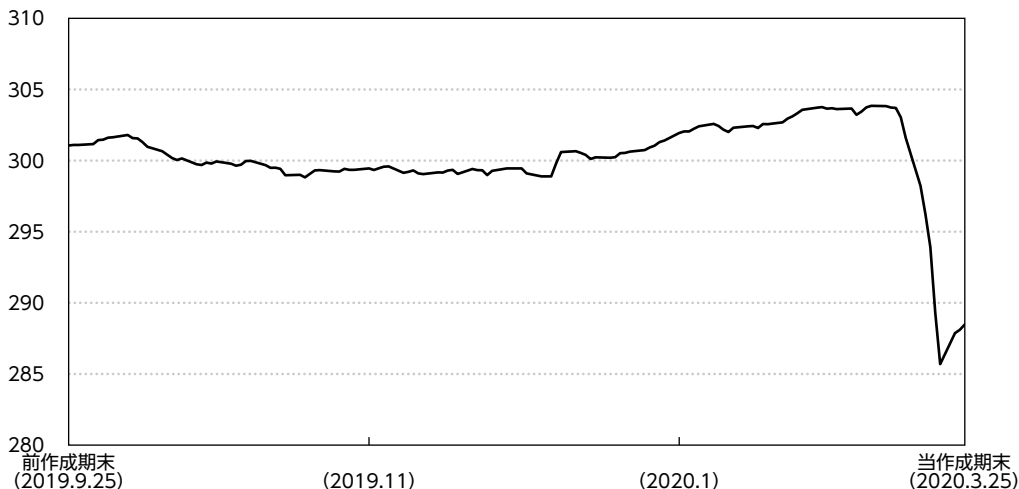
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

デンマーク・カバード債券市場

【ニクレディットDMBインデックスの推移】



(注) ブルームバークのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

当作成期の欧州（ドイツ10年国債）金利はマイナス圏で大きく上下しながらも当作成期を通じて見ると上昇（債券価格は下落）しました。

10月から12月にかけては、米中貿易協議の交渉状況に影響を受けながらも、合意に対する期待から投資家のリスク選好姿勢が強まり金利は上昇基調で推移しました。また、ハードブレグジット（イギリスの欧州連合（EU）からの強硬離脱）に対する警戒感の剥落も投資家のリスク選好姿勢を強める要因となりました。1月には米国によるイランでの空爆により中東情勢が緊迫する中、金利は低下する場面も見られましたが、事態が短期間で収束に向かったことで市場の反応は一時的なものに留まりました。その後は新型コロナウイルスの感染が拡大し、徐々に投資家のリスク回避姿勢が強まる展開となりました。感染が拡大した当初は新型コロナウイルスによる市場への影響は限定的といった楽観的な見方があり、2月半ばまでは株式市場も堅調な推移となっていました。中国国外の感染者が急速に増加すると一気に投資家のリスク回避姿勢が強まり株安と同時に金利も大きく低下する展開となりました。3月には市場の混乱を受けて米連邦準備制度理事会（FRB）が矢継ぎ早に追加の金融緩和策を決定する中、欧州中央銀行（ECB）も新型コロナウイルス対策の資産買い入れパッケージ等の金融緩和策を決定しました。当作成期末にかけては米国やドイツを筆頭に各国政府が経済政策を打ち出し財政拡大も意識される中、金利は反転し大幅に上昇しました。

デンマーク・カバード債券は10月以降、緩やかな金利上昇を背景に低クーポン債は価格が下落基調で推移し、高止まりする期限前償還率が意識される中、高クーポン債も緩やかに価格が下落しました。1月から2月にかけては、欧州金利の低下に伴い低クーポン債を中心に価格が上昇しましたが、3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした市場の混乱から現金化の動きがあったことに加え、反転して金利上昇局面ではデュレーションが長くなる特性がマイナスとなり低クーポン債を中心に大きく価格が下落しました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、各ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、各ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期末の格付別構成比はA A A格（100.0%）となり、平均格付はA A A格を継続しました。

発行体別構成比は当作成期末時点でニクレディット・リアルクレディット（30.0%）、ノルディア・クレディット（29.9%）、ユスケ・リアルクレディット（29.4%）、リアルクレディット・デンマーク（10.7%）としています。

（注1）比率は対組入債券評価額比です。

（注2）格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、各ファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

■為替ヘッジあり・資産成長型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■為替ヘッジあり・3ヵ月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第7期	第8期
	2019年9月26日～2019年12月25日	2019年12月26日～2020年3月25日
当期分配金（税引前）	25円	25円
対基準価額比率	0.24%	0.25%
当期の収益	12円	11円
当期の収益以外	12円	13円
翌期繰越分配対象額	392円	380円

■為替ヘッジあり・資産成長型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2019年9月26日～2020年3月25日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	382円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

欧州経済については各国による財政拡張の景気下支えは一定程度期待されるものの、新型コロナウイルスの感染拡大が沈静化し経済活動が正常化するまでには相応の時間を要すると見込み、当面の景気は下振れする可能性が高まったと見ています。ECBは新型コロナウイルス対策の資産買入れパッケージ等の政策を決定するなど金融緩和の姿勢を強めています。欧州（ドイツ10年国債）金利は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念や財政拡張の思惑が交錯する中、大きく上下する可能性はありますが、当面は金融緩和的な政策スタンスが継続すると見込まれるため、次第に安定的な動きに移行すると見込みます。デンマーク国立銀行（中央銀行）は政策目標であるデンマーク・クローネの対ユーロでの安定を目的に3月に0.15%の利上げを実施しましたが、ECBにおおむね連動した金融政策を行っているため、当面は現行の政策金利が維持されると見込み、デンマーク10年国債金利についても欧州金利同様、おおむね安定的に推移すると見込みます。

今後の運用については、デンマーク・カバード債券の価格動向は期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と、安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ファンドデータ

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・3ヵ月決算型）の組入資産の内容

組入ファンド

	第8期末 2020年3月25日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

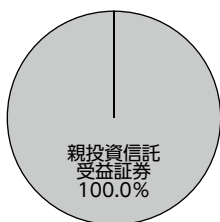
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

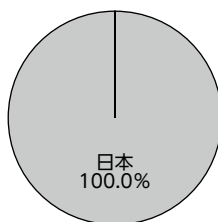
項目	第7期末 2019年12月25日	第8期末 2020年3月25日
純資産総額	24,434,806,787円	22,535,221,382円
受益権総口数	23,795,212,201口	23,031,652,779口
1万円当たり基準価額	10,269円	9,784円

(注) 当作成期間（第7期～第8期）中における追加設定元本額は7,455,160,226円、同解約元本額は3,425,145,105円です。

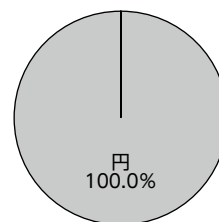
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2020年3月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・資産成長型）の組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第4期末 2020年3月25日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

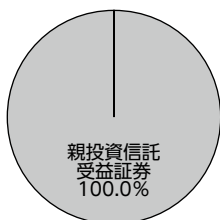
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

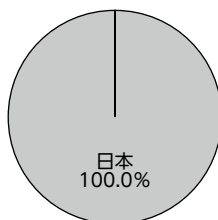
項目	第4期末 2020年3月25日
純資産総額	35,585,404,734円
受益権総口数	35,750,241,921口
1万口当たり基準価額	9,954円

(注) 当期間中における追加設定元本額は19,765,712,104円、同解約元本額は10,020,779,008円です。

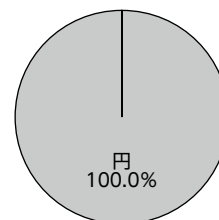
■ 資産別配分



■ 国別配分



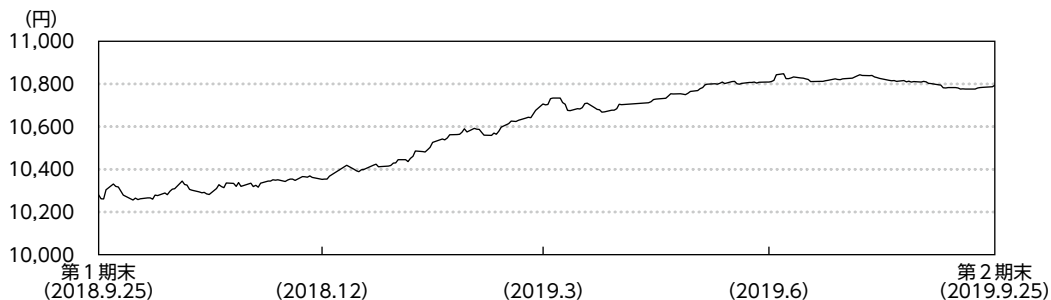
■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2020年3月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

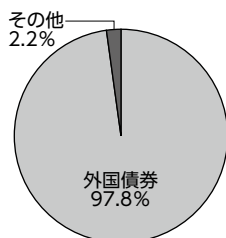
銘柄名	通貨	比率
JYSKE REALKREDIT A/S 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	17.3%
NORDEA KREDIT REALKREDIT 1.5% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	12.5
NYKREDIT REALKREDIT AS 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	12.0
NYKREDIT REALKREDIT AS 1.5% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	10.7
REALKREDIT DANMARK 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	8.3
NORDEA KREDIT REALKREDIT 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	7.7
NORDEA KREDIT REALKREDIT 1.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	6.0
JYSKE REALKREDIT A/S 1.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	4.6
NYKREDIT REALKREDIT AS 1.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	4.6
JYSKE REALKREDIT A/S 1.5% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	4.2
組入銘柄数		14

■ 1万口当たりの費用明細

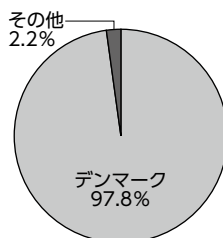
2018.9.26~2019.9.25

項目	金額
その他費用 (保管費用)	3円 (3)
(その他)	(0)
合計	3

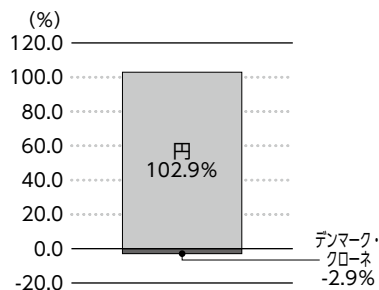
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2019年9月25日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額＋ 累計分配金		
(設定日) 2018年4月16日	円 10,000	円 -	% -	円 10,000	% -	百万円 1
1期 (2018年6月25日)	10,034	0	0.3	10,034	96.8	2,115
2期 (2018年9月25日)	10,049	25	0.4	10,074	100.8	3,357
3期 (2018年12月25日)	10,073	25	0.5	10,123	94.9	5,989
4期 (2019年3月25日)	10,368	25	3.2	10,443	95.9	10,046
5期 (2019年6月25日)	10,419	25	0.7	10,519	97.8	13,178
6期 (2019年9月25日)	10,357	25	△0.4	10,482	97.8	19,679
7期 (2019年12月25日)	10,269	25	△0.6	10,419	98.5	24,434
8期 (2020年3月25日)	9,784	25	△4.5	9,959	98.8	22,535

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

(注6) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
第7期	(期首)	円	%	%
	2019年9月25日	10,357	-	97.8
	9月末	10,402	0.4	97.9
	10月末	10,309	△0.5	100.2
	11月末	10,299	△0.6	99.2
第8期	(期末)			
	2019年12月25日	10,294	△0.6	98.5
	(期首)			
	2019年12月25日	10,269	-	98.5
	12月末	10,271	0.0	100.3
	2020年1月末	10,348	0.8	97.6
2月末	10,377	1.1	97.3	
(期末)				
2020年3月25日	9,809	△4.5	98.8	

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2019年9月26日～2020年3月25日

	第7期～第8期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	7,136,221	7,693,597	3,482,090	3,746,940

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2019年9月26日～2020年3月25日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2020年3月25日現在

種類	第6期末	第8期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	18,235,034	21,889,165	22,534,895

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は69,530,367千口です。

投資信託財産の構成

2020年3月25日現在

項目	第8期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	22,534,895	98.0
コール・ローン等、その他	469,579	2.0
投資信託財産総額	23,004,474	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお3月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ16.07円です。

(注2) ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（70,979,812千円）の投資信託財産総額（73,965,162千円）に対する比率は96.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年12月25日) (2020年3月25日)現在

項目	第7期末	第8期末
(A) 資産	24,551,553,080円	23,004,474,636円
コール・ローン等	46,695,132	52,532,394
ニッセイ・デンマーク・カバード債券マザーファンド(評価額)	24,435,677,246	22,534,895,598
未収入金	69,180,702	417,046,644
(B) 負債	116,746,293	469,253,254
未払収益分配金	59,488,030	57,579,131
未払解約金	6,891,070	355,048,969
未払信託報酬	50,063,081	56,290,956
その他未払費用	304,112	334,198
(C) 純資産総額(A - B)	24,434,806,787	22,535,221,382
元本	23,795,212,201	23,031,652,779
次期繰越損益金	639,594,586	△ 496,431,397
(D) 受益権総口数	23,795,212,201口	23,031,652,779口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,269円	9,784円

(注1) 当作成期首元本額 19,001,637,658円
 当作成期中追加設定元本額 7,455,160,226円
 当作成期中一部解約元本額 3,425,145,105円

(注2) 元本の欠損
 当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は496,431,397円です。

損益の状況

(第7期 2019年9月26日～2019年12月25日)
 (第8期 2019年12月26日～2020年3月25日)

項目	第7期	第8期
(A) 配当等収益	△ 2,909円	△ 3,846円
受取利息	107	317
支払利息	△ 3,016	△ 4,163
(B) 有価証券売買損益	△ 76,625,983	△ 1,013,125,101
売買益	2,186,167	40,073,825
売買損	△ 78,812,150	△ 1,053,198,926
(C) 信託報酬等	△ 50,367,351	△ 56,625,207
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 126,996,243	△ 1,069,754,154
(E) 前期繰越損益金	192,428,088	5,291,338
(分配準備積立金)	(280,571,496)	(222,548,072)
(繰越欠損金)	(△ 88,143,408)	(△ 217,256,734)
(F) 追加信託差損益金*	633,650,771	625,610,550
(配当等相当額)	(679,516,926)	(681,687,666)
(売買損益相当額)	(△ 45,866,155)	(△ 56,077,116)
(G) 合計(D + E + F)	699,082,616	△ 438,852,266
(H) 収益分配金	△ 59,488,030	△ 57,579,131
次期繰越損益金(G + H)	639,594,586	△ 496,431,397
追加信託差損益金	633,650,771	625,610,550
(配当等相当額)	(684,223,139)	(683,945,145)
(売買損益相当額)	(△ 50,572,368)	(△ 58,334,595)
分配準備積立金	249,990,582	191,343,565
繰越欠損金	△ 244,046,767	△ 1,313,385,512

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第7期	第8期
(a) 経費控除後の配当等収益	28,907,116円	26,374,624円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	684,223,139円	683,945,145円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	280,571,496円	222,548,072円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	993,701,751円	932,867,841円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	417.61円	405.04円
(g) 分配金	59,488,030円	57,579,131円
(h) 分配金(1万口当たり)	25円	25円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	債券 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2018年4月16日	10,000	-	-	10,000	-	1
1期(2018年9月25日)	10,074	0	0.7	10,074	100.8	1,764
2期(2019年3月25日)	10,445	0	3.7	10,445	95.9	7,829
3期(2019年9月25日)	10,484	0	0.4	10,484	97.8	27,263
4期(2020年3月25日)	9,954	0	△5.1	9,954	98.8	35,585

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債券 組入比率
		円	%	
(期首)2019年9月25日	10,484		-	97.8
9月末	10,530		0.4	97.9
10月末	10,436		△0.5	100.2
11月末	10,425		△0.6	99.2
12月末	10,423		△0.6	100.3
2020年1月末	10,501		0.2	97.6
2月末	10,530		0.4	97.3
(期末)2020年3月25日	9,954		△5.1	98.8

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2019年9月26日～2020年3月25日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	19,165,648	20,638,669	9,857,945	10,647,126

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2019年9月26日～2020年3月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2020年3月25日現在

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	25,258,882	34,566,584	35,586,299

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は69,530,367千口です。

投資信託財産の構成

2020年3月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	35,586,299	98.4
コール・ローン等、その他	571,226	1.6
投資信託財産総額	36,157,525	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお3月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ16.07円です。

(注2) ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（70,979,812千円）の投資信託財産総額（73,965,162千円）に対する比率は96.0%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年3月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	36,157,525,496円
コール・ローン等	163,339,668
ニッセイ・デンマーク・カバード債券 マザーファンド(評価額)	35,586,299,026
未収入金	407,886,802
(B) 負債	572,120,762
未払解約金	402,381,624
未払信託報酬	168,799,807
その他未払費用	939,331
(C) 純資産総額(A-B)	35,585,404,734
元本	35,750,241,921
次期繰越損益金	△ 164,837,187
(D) 受益権総口数	35,750,241,921口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,954円

(注1) 期首元本額 26,005,308,825円
期中追加設定元本額 19,765,712,104円
期中一部解約元本額 10,020,779,008円

(注2) 元本の欠損
純資産総額は元本額を下回っており、その差額は164,837,187円です。

損益の状況

当期 (2019年9月26日～2020年3月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 20,367円
受取利息	3,702
支払利息	△ 24,069
(B) 有価証券売買損益	△ 1,657,665,126
売買益	82,313,432
売買損	△ 1,739,978,558
(C) 信託報酬等	△ 169,739,868
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,827,425,361
(E) 前期繰越損益金	127,688,725
(分配準備積立金)	(185,243,678)
(繰越欠損金)	(△ 57,554,953)
(F) 追加信託差損益金*	1,534,899,449
(配当等相当額)	(1,064,675,141)
(売買損益相当額)	(470,224,308)
(G) 合計(D+E+F)	△ 164,837,187
次期繰越損益金(G)	△ 164,837,187
追加信託差損益金	1,534,899,449
(配当等相当額)	(1,084,978,396)
(売買損益相当額)	(449,921,053)
分配準備積立金	282,195,194
繰越欠損金	△ 1,981,931,830

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	96,951,516円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	1,084,978,396円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	185,243,678円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	1,367,173,590円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	382.42円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

お知らせ

■運用体制の変更について

代表取締役社長に大関洋が就任いたしました。

(2020年3月25日)

■各ファンドの概要

		為替ヘッジあり・3ヵ月決算型	為替ヘッジあり・資産成長型
商 品 分 類		追加型投信／海外／債券 特化型	
信 託 期 間		2018年4月16日～2028年9月25日	
運 用 方 針		①ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	
主要運用対象	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	デンマーク・カバード債券等	
運用方法	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分 配 方 針		毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。

ニッセイ・デンマーク・カバード債 マザーファンド

運用報告書

第 2 期

(計算期間：2018年9月26日～2019年9月25日)

運用方針

- ①主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
- ②外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を図ることをめざします。

主要運用 対象

デンマーク・カバード債券等

運用方法

- 以下の様な投資制限のもと運用を行います。
- ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。
 - ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

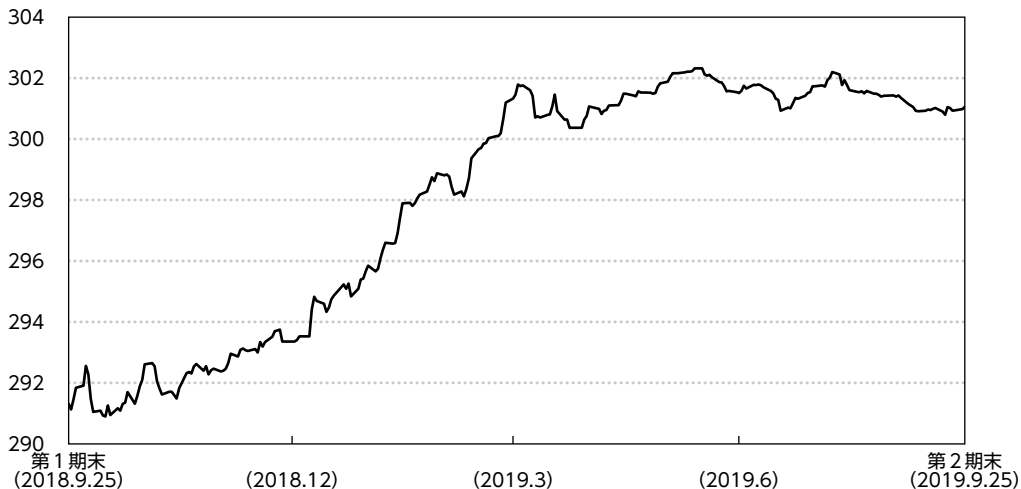
東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2018年9月26日～2019年9月25日

デンマーク・カバード債券市況

【ニクレディットDMBインデックスの推移】



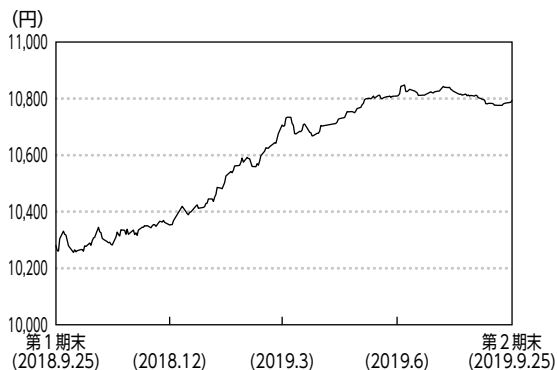
(注) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

当期の欧州（ドイツ10年国債）金利は期を通じて見ると低下（債券価格は上昇）しました。

10月はイタリアの予算案を巡る不透明感も意識される中、投資家のリスク回避姿勢が強まり、それまで堅調であった株式市場が下落したことから金利は低下に転じました。12月には欧州中央銀行（ECB）が資産買い入れ策の終了を決定したことに加え、イタリアは2019年度の予算案を欧州連合（EU）と合意しましたが世界的な景気後退懸念がくすぶる中、金利は低下基調で推移しました。3月はECBや米連邦公開市場委員会（FOMC）において金融緩和的な政策スタンスが示されたことや、ブレグジット（イギリスのEU離脱）に関する不透明感が高まったことさらに金利は低下しました。4月に入りブレグジットの期限が延期されたことや米中協議の進展等を背景に金利は上昇に転じましたが、5月から6月にかけては米国による対中追加関税引き上げの決定やメイ英首相の辞任表明、イタリアの財政問題の再燃等を受けて低下が進行しました。7月は米国の経済指標が良好な内容となったことで金利は上昇する場面も見られましたが、8月に入ると米中貿易摩擦の激化を背景にさらに低下が進行しました。9月は合意なきブレグジットが避けられるとの思惑や米中貿易摩擦に対する過度な懸念が後退したことで、金利は上昇に転じました。ECBやFOMCでは政策金利の引き下げが決定されるなど金融緩和的な政策スタンスを継続したものの、さらなる金融緩和に対する限界が意識される中、期末にかけて金利は小幅に上昇し、それまでの低下幅を縮小させました。

デンマーク・カバード債券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は10月以降、イタリアの予算案を巡る不透明感や世界的な景気後退懸念等を背景に拡大基調で推移しましたが、2月以降は縮小に転じ、3月にはECBやFOMCにおいて金融緩和的な政策スタンスが示されたことから、さらに縮小する展開となりました。6月以降は期限前償還リスクが意識される中、低クーポンの銘柄は堅調な値動きとなりましたが、高クーポンの銘柄は軟調に推移しました。特に7月から8月にかけては急速な金利の低下により住宅ローンの借り換えに伴う繰り上げ返済が増加し、期限前償還リスクの高まりが価格にネガティブに働いたことで2%以上の高クーポン銘柄の下落が目立ちました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は期を通じて見ると上昇基調で推移しました。

世界的に金利の低下（債券価格は上昇）が進行する中、相対的に利回りの高いデンマーク・カバード債券が投資家の需要を集めプラスに寄与したことから、基準価額はおおむね堅調な値動きとなりました。期限前償還リスクが意識される中、特に6月以降、高クーポンの銘柄は住宅ローンの借り換えに伴う繰り上げ返済が増加したことを受けて価格にネガティブに働いたことから基準価額にマイナス寄与となりましたが、機動的な銘柄入れ替えによるリターンの獲得に加え、高い運用利回りと為替ヘッジプレミアム（金利差相当分の収益）を安定的に享受したことがプラス寄与となり、おおむね安定的に推移しました。

ポートフォリオ

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当期末の格付別構成比はA A A格（100.0%）となり、平均格付はA A A格を継続しました。

発行体別構成比は当期末時点でユスケ・リアルクレジット（30.5%）、ニクレジット・リアルクレジット（30.3%）、ノルディア・クレジット（29.6%）、リアルクレジット・デンマーク（9.6%）としています。

(注1) 比率は対組入債券評価額比です。

(注2) 格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

欧州経済については景況感改善の兆しが見られず、鈍化傾向が継続すると予想します。また、ブレグジットに関する政治動向は不透明感が強く、状況次第ではさらに欧州景気を冷やすリスクがあるため、引き続き留意が必要です。ECBは9月の理事会において政策金利のさらなる引き下げと資産買い入れプログラムの再開を決定しました。また、デンマーク国立銀行（中央銀行）も同日、利下げを決定しています。欧州（ドイツ10年国債）金利は大幅に低下してきた反動で一時的に上昇する可能性があります。金融緩和的な政策スタンスからの変更は当面見込まれない中、おおむね安定的に推移すると見込みます。デンマーク国立銀行はECBに連動した金融政策を行っているため、デンマーク10年国債金利についても欧州金利同様、安定的に推移すると見込みます。

デンマーク・カバード債券の価格動向は期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と、安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率		債券組入比率	純資産総額
(設定日) 2017年10月12日	円 10,000	% -	% -	% -	百万円 100
1期 (2018年9月25日)	10,280	2.8	100.8		21,234
2期 (2019年9月25日)	10,794	5.0	97.8		60,833

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率
(期首) 2018年9月25日	円 10,280	% -	% 100.8	
9月末	10,304	0.2	100.5	
10月末	10,326	0.4	97.7	
11月末	10,335	0.5	93.4	
12月末	10,368	0.9	96.1	
2019年1月末	10,461	1.8	94.8	
2月末	10,573	2.9	97.7	
3月末	10,734	4.4	97.2	
4月末	10,703	4.1	97.3	
5月末	10,799	5.0	95.2	
6月末	10,843	5.5	98.4	
7月末	10,838	5.4	95.9	
8月末	10,802	5.1	95.8	
(期末) 2019年9月25日	10,794	5.0	97.8	

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2018年9月26日～2019年9月25日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	3円	0.029%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.027)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.002)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	3	0.029	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,597円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2018年9月26日～2019年9月25日

公社債

			買付額	売付額
外国	デンマーク	社債券	千デンマーク・クローネ 5,487,171	千デンマーク・クローネ 2,694,897 (262,846)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利分は含まれていません）。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2018年9月26日～2019年9月25日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
JYSKE REALKREDIT A/S	13,245,024	NORDEA KREDIT REALKREDIT	10,124,370
NYKREDIT REALKREDIT AS	12,570,279	NYKREDIT REALKREDIT AS	8,544,538
NORDEA KREDIT REALKREDIT	9,691,443	NYKREDIT REALKREDIT AS	6,298,434
NORDEA KREDIT REALKREDIT	7,756,691	REALKREDIT DANMARK	5,979,118
NYKREDIT REALKREDIT AS	6,869,796	NORDEA KREDIT REALKREDIT	3,890,765
NORDEA KREDIT REALKREDIT	6,658,219	JYSKE REALKREDIT A/S	3,742,876
NYKREDIT REALKREDIT AS	6,575,494	REALKREDIT DANMARK	1,044,246
REALKREDIT DANMARK	6,396,959	REALKREDIT DANMARK	1,021,311
NORDEA KREDIT REALKREDIT	3,691,068	NYKREDIT REALKREDIT AS	943,369
JYSKE REALKREDIT A/S	2,803,661	NYKREDIT REALKREDIT AS	845,233

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2019年9月25日現在

外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円	%	%	%	%	%
デンマーク	3,700,043	3,766,118	59,504,679	97.8	—	97.8	—	—
合計	—	—	59,504,679	97.8	—	97.8	—	—

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額	
				千デンマーク・クローネ	千円
デンマーク	%		千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円
社債券					
JYSKE REALKREDIT A/S	1.0000	2050/10/01	176,410	177,080	2,797,869
JYSKE REALKREDIT A/S	1.5000	2050/10/01	141,890	144,912	2,289,613
JYSKE REALKREDIT A/S	1.5000	2050/10/01	158,170	161,610	2,553,441
JYSKE REALKREDIT A/S	2.0000	2050/10/01	651,693	665,430	10,513,808
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.5000	2047/10/01	101,718	104,322	1,648,300
NORDEA KREDIT REALKREDIT	1.0000	2050/10/01	232,380	231,506	3,657,798
NORDEA KREDIT REALKREDIT	1.5000	2050/10/01	472,072	483,039	7,632,018
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0000	2050/10/01	289,480	295,924	4,675,610
NYKREDIT REALKREDIT AS	2.0000	2047/10/01	88,120	89,976	1,421,631
NYKREDIT REALKREDIT AS	1.0000	2050/10/01	176,920	176,212	2,784,154
NYKREDIT REALKREDIT AS	1.5000	2050/10/01	403,493	412,079	6,510,858
NYKREDIT REALKREDIT AS	2.0000	2050/10/01	451,356	461,164	7,286,397
REALKREDIT DANMARK	1.0000	2050/10/01	43,840	43,664	689,901
REALKREDIT DANMARK	2.0000	2050/10/01	312,497	319,194	5,043,275
合計	—	—	—	—	59,504,679

投資信託財産の構成

2019年9月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 59,504,679	% 93.6
コール・ローン等、その他	4,102,186	6.4
投資信託財産総額	63,606,866	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお9月25日における邦貨換算レートは、1デンマーク・クローネ15.80円です。

(注2) 外貨建純資産(57,939,496千円)の投資信託財産総額(63,606,866千円)に対する比率は91.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年9月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	135,053,829,772円
コール・ローン等	3,327,816,292
公社債(評価額)	59,504,679,441
未収入金	71,995,308,678
未収利息	182,485,655
前払費用	43,539,706
(B) 負債	74,220,704,528
未払金	73,920,953,547
未払解約金	299,747,451
その他未払費用	3,530
(C) 純資産総額(A-B)	60,833,125,244
元本	56,359,767,981
次期繰越損益金	4,473,357,263
(D) 受益権総口数	56,359,767,981口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,794円

- (注1) 期首元本額 20,656,331,530円
 期中追加設定元本額 49,166,071,043円
 期中一部解約元本額 13,462,634,592円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
- ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド (為替ヘッジあり・3ヵ月決算型) 18,235,034,737円
 ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド (為替ヘッジあり・資産成長型) 25,258,882,022円
 きらぼし・デンマーク・インカムファンド (為替ヘッジ型) 7,511,827,901円
 ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2018-09 (為替ヘッジあり) 3,479,318,650円
 ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド2019-07 (為替ヘッジあり・限定追加型) 1,874,704,671円

損益の状況

当期 (2018年9月26日~2019年9月25日)

項目	当期
(A) 配当等収益	643,410,701円
受取利息	644,331,637
支払利息	△ 920,936
(B) 有価証券売買損益	807,933,475
売買益	6,615,787,715
売買損	△5,807,854,240
(C) 信託報酬等	△ 9,940,619
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,441,403,557
(E) 前期繰越損益金	578,466,044
(F) 追加信託差損益金	3,274,946,885
(G) 解約差損益金	△ 821,459,223
(H) 合計(D+E+F+G)	4,473,357,263
次期繰越損益金(H)	4,473,357,263

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。